心理情報処理

［講義］　第３学年　前期　選択　2単位

《履修上の留意事項》授業中に統計解析ソフトを使用するため、初回からパソコン必携である。

《担当者名》昆野照美

【概　要】
心理学で扱うデータは、誤差を多く含んでいることや同時に関連する多数の変数を測定していることが特徴である。このため、データへ高度な統計的処理を行い、結果を解釈する力が要求される。この講義では、JASPと呼ばれる統計解析用のソフトウェアを各自のパソコンにインストールし利用しながら心理学的なデータに対する統計的処理を習得する。

【学修目標】
①心理学のデータを扱うための統計的な考え方について学ぶ。
②あるデータに対してどのような分析を行い、結果をどのように解釈すべきかを学ぶ。
③心理学で必要とされる統計的な分析について、JASPを用いて処理できるようにする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	JASPのインストールを行い、JASPの概要、簡単な操作を学ぶ。心理学におけるデータの性質、形式について学ぶ。	昆野照美
2	基礎統計量	JASPを用いてデータを処理し、平均、標準偏差、相関の意味を学習する。また、ソフトの基本操作（ファイルの保存、印刷）を学ぶ。	昆野照美
3	平均値の検定　１	心理学で多用される検定について、平均値の検定を通して、その考え方を学び、JASPによって計算し、結果を解析する。	昆野照美
4	平均値の検定　２	平均値について、信頼区間やサンプルサイズの影響について理解し、JASPで調べる。	昆野照美
5	回帰分析　１	線形回帰の考え方について学び、重相関係数、決定係数、変相関係数など、重回帰分析についてJASPによるデータの分析を通してその意味を知る。	昆野照美
6	回帰分析　２ ステップワイズ法	重回帰分析における独立変数の選択の仕方を学ぶ。とくに、ステップワイズ法と呼ばれる方法について、統計ソフトを使って分析を行ってみる。	昆野照美
7	分散分析	平均値の検定として非常に良く用いられる分散分析について、その考え方およびソフトの操作の仕方を学ぶ。また、結果の解釈についてのポイントを知る。	昆野照美
8	分散分析その２	多元配置の分散分析について学ぶ。	昆野照美
9	多重比較	分散分析と合わせて行われる、多重比較についてその意味や解析の方法について学ぶ。	昆野照美
10	多元分割表	多元分割表に対する残差分析をJASPで行い、結果について解釈の仕方を学ぶ。	昆野照美
11	因子分析	心理学で分散分析とともに多用される因子分析（探索的因子分析）についてデータを通して学ぶ。因子分析の意味、および因子数の決定の仕方を詳しく行う。	昆野照美
12	項目分析・検出力分析	質問紙の各項目の適切性について、クロンバックのα係数や相関係数、GP分析といった方法を知る。加えて、サンプルサイズの決定に関する検出力分析を学ぶ。	昆野照美
13	かい2乗検定	かい2乗検定についてデータを通して学ぶ。また，結果の解釈の仕方を学ぶ。	昆野照美
14	心理学実験の試作	簡単な心理学実験を試作する。データにはどのような分析方法が適切なのかを学ぶ	昆野照美

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	心理学実験の情報処理	作成した心理学実験に関し、適切な統計処理を行い，結果の解釈をする。	昆野照美

【授業実施形態】
面接授業と遠隔授業の併用
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
毎回講義で与えたレポート課題をGlexaによって提出してもらう。また、学期末にレポートを課す。これらによって評価する。

【教科書】
使用しない。

【備考】
授業形態は対面を原則とするが、状況によってオンデマンドを用いる。

【学修の準備】
毎回統計処理ソフトJASPを用いてデータの解析を行いレポートとして提出する（1～2時間）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】
DP2.社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。
DP1.心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】
公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】
臨床経験をふまえ、臨床活動に反映するデータの理解の仕方を学ぶ。